

# 募集班長の模型部屋（第3回）

皆さんこんにちは。

今年の夏も暑かったですね。私は暑い季節の模型製作が進まないんですよ。手の汗や脂がキットの表面についてしまったり、集中力を欠いてしまって部品を落としたり、どこかへ飛ばしたり・・・エアコンつければいいのですが、シンナーが充満しているので換気やエコのため我慢しています。

さて、今回は、

## 73式小型トラック106mm無反動砲搭載型 です。



昔、よく富士総合火力演習や駐屯地創立記念日で、輸送ヘリコプターV107の中から下りてきて走行して射撃したり、釣下させて作戦地域におろす等、派手な場面で活躍していた車両です。普通科連隊の対戦車小隊等に配備されていました。機甲科部隊でも偵察隊や戦車連・大隊の偵察小隊に配備されていました。現在は、私が勤務していた北海道の第1戦車群本部管理中隊の1両のみが現存しています。今回は、その車両と思いましたが、キットと少し仕様が違うので、第11偵察隊仕様としました。87式偵察警戒車が配備されるまで、偵察部隊の対装甲火力として使用されていました。

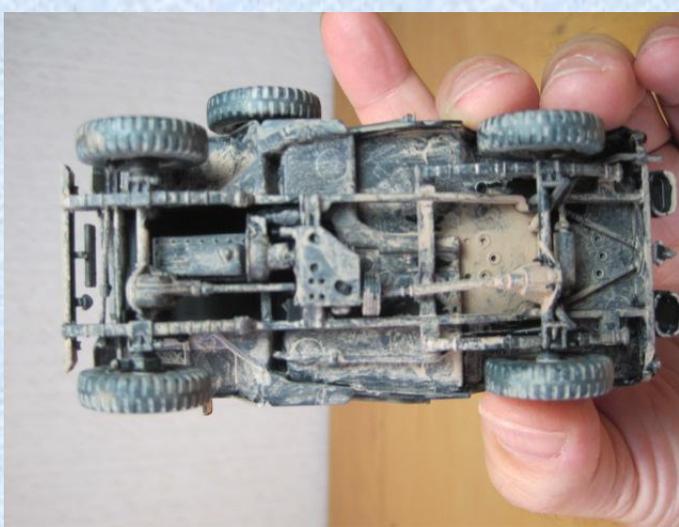


キットはファインモールド社で、一連のジープシリーズの第3弾となります。後は64式対戦車誘導弾搭載型の発売を期待したいところですが・・・

エッチングパーツは使用しませんでした。防衛予算がないし、店頭にもなかったもんですから。それでもこれくらいのキットができあがるのですからファインモールドさんの今後に期待したいところです。

車体色はグンゼ自衛隊色セットのOD色を使用しました。





左の写真ですが、かつてジープを整備するとき、車体の裏も洗車していたのですが、そのときを思い出しながら泥を塗ってみました。ん～なんか違う。今後の課題です。

話は変わりますが、私が高田所長るとき、所の広報官に新発田駐屯地の第30普通科連隊の対戦車小隊に勤務されていた方がいて、「所長、我々は最後突撃した後、この無反動砲をジープから分解して降ろして対戦車陣地に持って行き、そこで組み立てて射撃態勢が完了して訓練が終了するんですよ。もう重くて、重くて大変でしたよ！」と苦労話を聞かせてもらいました。

そりゃそうだろうな・・・ご苦労様でした。プラモなら簡単ですけどね・・・



で、今まで作ったジープと並べてみました。なかなか壮観な眺めです。やっぱり64式対戦車誘導弾搭載型も欲しいよな・・・



さて次回は、懐かしの戦車シリーズ第4弾

## M42A1 自走高射機関砲

です。また見てくださいね。